

地域包括支援センター名：松浪地区地域包括支援センターさざなみ

**試行的実施**

1. 今年度の重点的な取組方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
1-1. 市の方針に即している	4	市役所の委託事業であることを認識し第6期福祉計画・介護保険事業計画に沿って事業計画をたてている。	4	市の方針や政策を踏まえて、事業計画の作成及び事業が実施されている。	4
1-2. 長期的な視点で見たときの今年度の位置付けを意識している	3	地域包括ケアシステムの構築に向けて地域ケア会議を実施した。任意事業の家族介護教室も開催し、さざなみ広報紙の発行を通して地域住民の啓蒙啓発活動を行なった。	4	地域包括ケアシステムの構築に向けた長期的な視点を持って、地域ケア会議を位置づけている。また、広報紙の発行等を通して、地域への周知活動などを行っている。	4
2. 組織の運営体制の具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
2-1. 組織体制が明確である	4	「管理規程」及び「役割機能図」により組織体制を明確にしている。	4	管理責任者が定期的に朝礼に出席するなど、一体的な管理をするための体制が整えられている。書面でも法人の組織体制や役割が明確になっている。	4
2-2. 切れ目なく三職種を配置し、業務を継続するための取り組みがある	4	フレックスタイム制や自己研鑽制度等職員が継続して就労しやすい勤務体制を構築している。	4	資格取得者を増やすための支援体制整備、給与規定見直し、柔軟な勤務体制など、専門職確保のための具体的な取り組みがある。	4
2-3. 適正な職員配置をするための取り組みがある	4	担当地区の高齢者人数が多いため三職種の常勤職員はもちろんのこと法人として介護支援専門員を配置し手厚い相談体制をとっている。	4	適正な人数で包括的支援事業が実施できるよう、指定介護予防支援を行う介護支援専門員を配置するなど、具体的に取り組んでいる。	4
3. 職員間の連携に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
3-1. 三職種の専門性を生かしてチームケア実現に向けた取り組みがある	4	三職種の専門性を尊重しより相乗効果を生むことができるよう個別のケースによっては管理者の判断指示のもと複数体制で訪問対応している。	4	朝礼を活用して情報共有し、専門職としての見解を確認し、専門性を活かした支援がされている。また、情報の集約を管理者が行うなど、組織としての体制が整備されている。	4
3-2. 職員間の効果的な連携を促進するための取り組みがある	4	クラウド対応のコンピューターソフトの活用により職員間で必要な情報を共有し、すばやく検索して連携できるシステムがある。	4	主担当者不在時には、事前に動きのあるケースの情報共有を行うなど、対策がとられている。また、共有ファイルにより経過が確認できるようになっている。	4
3-3. 包括的支援事業の4業務を実施するにあたり、各職種の専門性が生かされている	4	朝のミーティングや毎月行う職員会議で積極的な意見交換を行っている。研修会で得た知識の提案で包括主催の介護予防教室を開催し広報紙でも取り上げた。	4	朝のミーティング等で研修報告を行うなど、それぞれの専門職がもつ情報が共有されている。事業への展開など、三職種が協力して、専門性を活かした企画がされている。	4
4. 公正・中立性確保のための具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
4-1. 公正・中立性を確保するための取り組みがある	4	運営規程がある。法人運営相談員を設置。第三者評価事業の運営による公正中立な視点を反映。居宅事業所への紹介率の内規規程や紹介実績一覧表の作成。	4	介護予防プランの委託先や紹介先などが偏らないよう、地域の実情をふまえて、同一法人への委託は20%以内にする等の一定の基準を定めて対応している。	4
4-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	年に1回全体職員研修会において公正・中立はもとより基本理念、法令遵守、個人情報保護等の研修会を開催し意識啓発をおこなっている。	4	委託先の選択理由を一覧に記載し、職員が確認できるようにするなど、公正中立を意識できる体制が整えられている。また、研修の受講を通じた意識啓発も実施されている。	4
5. 緊急時対応の具体的方針(災害時含む)					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
5-1. 緊急時の体制が整備されている	4	非常時災害対応マニュアル及び緊急対応マニュアルがあり職員に配布し読みあわせを行っている。緊急連絡先を共有している。	4	緊急時の対応マニュアルが整備され、発災時の対応についても体制が整備されている。	4
5-2. 防災・減災のための取り組みがある	4	かながわシェイクアウトに参加している。消火訓練や救急救命訓練を実施している。	4	松浪コミュニティセンターが開催する防災訓練への参加、棚の配置、救急救命訓練など、防災・減災のための取り組みがある。	4
6. 個人情報保護に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
6-1. 個人情報保護に関する具体的な取り組みがある	4	個人情報保護規程を整備している。特定個人情報取扱規程を定めている。	4	個人情報保護のマニュアルが整備され、パスワード保護や保管庫の施錠など、必要な管理がされている。	4
6-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	毎年個人情報保護に関する研修会を開催している。職員から個人情報保護のための誓約書を記載してもらっている。	4	法人内で研修会を開催するなど、意識啓発のための取り組みがある。	4
7. 苦情対応に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
7-1. 苦情対応のための適切な体制が整備されている	4	苦情解決マニュアルがあり、苦情解決第三者委員会も設けている。	4	苦情対応のためのマニュアルがあり、適切な対応が出来る体制が整えられている。また、記録も整備されている。	4
7-2. 再発防止のための取り組みがある	4	受けた苦情を職員会議の議題とし再発防止に取り組んでいる。	4	苦情について、職員間で情報を共有し、再発防止に向けた話し合いを行うなどの取り組みがある。	4
総合評価(平均点)	3.94		4		4

総合評価(自己)	各種規程を整備し明文化によりリスクマネジメントを心がけている。度重なる制度改正にもすばやく適切に対応できるよう常に新しい情報の収集を心がけ学習の機会を持つようにしている。地域に根ざしたよりよい地域包括支援センターとなるよう職員一同一丸となって誠意をもって対応にあたっている。
総合評価(基幹型)	地域ケア会議の開催や広報紙の発行等を通して地域住民や地域の関係機関との関係を強化し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行っていることについて評価できる。また、専門職の人員確保策として、待遇の見直しや働き方にフレックスタイム制を導入するなど具体的な取り組みが行われている。各種のマニュアル等についても見やすく整理され、職員への周知及び共有が図られているため、緊急時等に適切な対応ができるものと期待している。平成28年度についても事業計画に沿って地域に根ざした活動を継続していただきたい。
運営協議会の意見	地域向け「広報紙」の発行などを活用して、地域との関係づくりに積極的に取り組んでいるものと評価できる。今後も、地域ケア会議の開催などを通して地域でケアが進められる体制づくりを継続していただきたい。
総合評価(市)	組織の運営体制や職員間の連携において、勤務体制の改善や意見交換や情報共有などに積極的かつ具体的に取り組んでいることを評価させていただきます。また、公正・中立性確保については職員の意識啓発に工夫が見られ、緊急時対応についても具体的な行動計画が示されており、苦情対応に関する取り組みにおいては、再発防止に踏みこんだ情報共有を行っているなど、高い意識で業務に取り組んでいることを評価いたします。地域ケア会議の開催や広報紙の発行等を通して地域住民や地域の関係機関との関係を強化し、地域に根ざした活動をめざして尽力いただいております。今後もさらに積極的に地域包括システムの核となるための取り組みを進めていただくことを期待しています。

運営状況レベルの内容	評価点
求められる評価基準を満たしており、具体的な成果が見られる	4
求められる評価基準を満たしている	3
求められる評価基準を満たしていないが、取り組みは行っている	2
求められる評価基準を満たしておらず、取り組みも行っていない	1